

## 刺網によるニゴロブナ漁獲物調査

根本守仁

### 1. 目的

資源管理型漁業を推進するうえでの基礎資料とするため、ニゴロブナの主要な漁法である刺網漁での漁獲物の調査を行った。

### 2. 方法

調査は、平成 30 年 3 月 7 日に、琵琶湖北湖北部の水深 70m 以深の水域で刺網により漁獲されたニゴロブナ 105 尾を対象に実施した。

標本は、冷凍保存とし、解凍後に体長および体重を計測した。また、開腹して性別を判定し、生殖腺の発達状況を観察するとともに、取り出して重量を測定した。年齢査定は、鱗の輪紋の乱れを観察することにより行った。

### 3. 結果

年齢および性別の個体数および割合を表 1 に示した。雌雄別にみると、雌が 83 尾で全体の 79% を占めていた。年齢組成について、雌雄ともに 1～7 歳魚まで漁獲されていたが、最も多かったのは 2 歳魚で全体の 32% であり、次いで 3 歳魚、4 歳魚であった。昨年度は高齢魚の占める割合が高かったが、本年度は若齢魚が多かったことが特徴として挙げられた。

雌の成熟状況について、生殖腺の外観から、未発達：透明で卵粒が見えない、成熟 1：うすだいたい色で卵粒が見える、成熟 2：不透明な黄色で卵粒が見える、成熟 3：透明な黄色で卵粒が見える、の 4 段階に区別された。雌の年齢別の生殖腺の発達状況を図 1 に示した。これまでの調査結果から、成熟 3 が銘柄「メス」と扱われることが明らかとなっている。2～6 歳魚では、高齢なものほど割合が高かったが、全体としては 55% であった。なお、昨年度の同時期の調査では成熟 3 の割合が 64% であったことから、本年度は成熟が遅れていることが明らかとなった。

表 1 刺網で漁獲されたニゴロブナの年齢および雌雄別の個体数および割合

年齢	個体数			割合		
	雌	雄	計	雌	雄	計
1	1		1	1%	0%	1%
2	28	6	34	27%	6%	32%
3	21	4	25	20%	4%	24%
4	18	2	20	17%	2%	19%
5	7	4	11	7%	4%	10%
6	6	5	11	6%	5%	10%
7	2	1	3	2%	1%	3%
計	83	22	105	79%	21%	100%

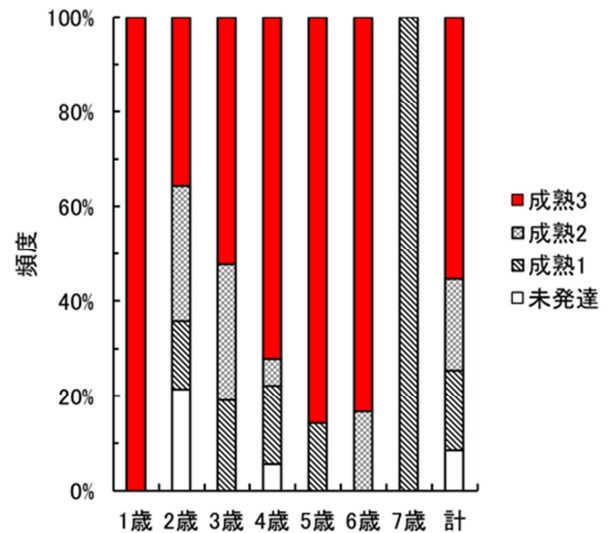


図 1 刺網で漁獲されたニゴロブナ雌の年齢別の生殖腺の発達状況